

大学名	所在地	内容
札幌大学	北海道	学生が編集する広報誌「SUETSU (スイーツ)」第10号を発行。学生限定の試写会を取材したCGアニメ映画「ミニオンズ」が表紙。
北海道情報大学	北海道	エクセルなどのスキルを競う、マイクロソフト社「MOS世界学生大会」の日本大会で同大の学生4人が入賞。
城西大学	埼玉	坂戸キャンパスに「水田三喜男記念展示室」を開設。創立50周年記念事業の一環で、創設者の足跡を展示。
聖学院大学	埼玉	11月14日に「高校生英語スピーチコンテスト」を開催。テーマは「よく生きる—Living Well」で、申込締め切り149月25日。
神田外語大学	千葉	全国七つの外国語大学が、在学生を対象に8月27日まで「通訳ボランティア育成セミナー」を開催。次回は来年2月に予定。2016年度一般入試からTOEFL iBTやIELTS、TEAPなど八つの英語外部試験を活用。所定の基準を満たせば英語を満点に扱う。
城西国際大学	千葉	サッカー部の大野哲也選手が来年のシーズンから、J2のジェフユナイテッド市原・千葉に加入内定。
聖徳大学	千葉	大学創立25周年、短大50周年を記念し公式キャラクターを制定。2頭の犬がモチーフで、愛称は「ファイ」と「リン」。警察音楽隊による恒例の吹奏楽コンサートを8月28日に川並香願記念講堂で開催。入場無料、定員1400人。
千葉工業大学	千葉	8月29日に、地元・習志野市を拠点とする社会人アメフトチーム「オービックシーガルズ」の応援スタンプラリーを開催。7月に中国で開催された「ロガカップ世界大会2015」ヒューマノイドリーグキッドサイズ部門で学生チームが2連覇。
千葉商科大学	千葉	第8回「サービス創造大賞」を9月30日まで公募。日常のサービスのほか、スポーツを魅力的なものにするアイデアを募る。高校生を対象に「明日の福祉アイデアコンテスト」を開催。湖山医療福祉グループとの共同企画で、応募締め切りは9月30日。商経学部の学生が11月を目途に株式会社を設立。授業「起業家リサーチ」の一環で、ロック製菓(株)と協働事業を展開。
東京情報大学	千葉	第6代学長に鈴木昌治学長(東京農業大学常務理事)が就任。任期は2019年7月15日までの4年間。オリジナルブランド「TUIS cafe」の第1号「使原いちじくタルト」が、共同開発した千葉県香取市の洋菓子店で販売。
大妻女子大学	東京	学内の地域連携・貢献プロジェクトが決定。子育て、高齢者支援からネパール大地震被災者支援まで、計21件に取り組む。
駒澤大学	東京	北極や南極で見られる夜光雲を国内で初めて観測。坂野井和准教授らの研究グループが、6月21日に道内で撮影に成功。130周年記念棟が国土交通省の「住宅・建築物CO ₂ 削減事業」に採択。環境に配慮した都市型キャンパスが評価。
駒沢女子大学	東京	10月17、18日に博物館学実習館で学生のプロデュースによる「食の隠れた主役—だし+調味料」展を開催。
芝浦工業大学	東京	国際コンテストでも高評価の英語版「月島路地マップ」をウェブで公開。昔ながらのまちの魅力を外国人にも発信。
昭和大学	東京	大学病院に「頭頸部腫瘍センター」を設置。耳鼻咽喉科と口腔外科によるチーム医療で、頭頸部がんの治療に当たる。
昭和女子大学	東京	今春の実就職率が93.9%で全国の大学9位、女子大では5年連続1位に。卒業生1000人以上の大学を対象とした調査。若手職員による「クリエイティブプロジェクト」が始動。イベント企画や施設の再利用などでキャンパスをより魅力的に。ケンタッキーフライドチキンとのコラボ第2弾で、飲むスイーツのさくぷる里まきご風味を開発。都内5店舗で発売中。
清泉女子大学	東京	11月13日まで「第10回いずみ文芸賞」の作品を募集。同大の学生、大学院生が対象で、優秀作は「清泉文苑」に掲載。
大東文化大学	東京	環境創造学部の飯塚裕介ゼミがDNPメディアアクリエイトと防災教育教材を開発中。来年には地域住民対象の実証実験も。
拓殖大学	東京	高校生や留学生を対象に「後藤新平・新渡戸稲造記念作文コンクール」を開催。国際協力などがテーマで、締め切りは9月4日。
玉川大学	東京	養蜂発祥の地、和歌山県古座川町と連携協定を締結。OBの町長が同大のミツバチ科学研究センターを訪問したのが縁。
帝京平成大学	東京	豊島区の「としまコミュニティ大学」と連携し公開講座を開催中。10~11月は「認知症患者を支える地域社会」がテーマ。10月28日から無料オンライン講座「gacco」で「大人のたしなみ栄養学」を開講。12月11日まで受講受付中。
東京経済大学	東京	経営学部のゼミ生が、オムロンヘルスケアとのコラボ企画で幹部社員にプレゼン。課題は電動歯ブラシのプロモーション。
東京工科大学	東京	応用生物学部の正木仁教授が日焼けによる肌乾燥のメカニズムを解明。スキンケアや日焼け止め化粧品への応用に期待。
法政大学	東京	キャンパスが隣接する三輪田学園と高大連携協定を締結。理科体験授業や、高校が開く討論会への留学生の参加などを予定。

大学での研究を生かし、環境に配慮した校舎を建てたのが関東学院大(横浜市)。建築・環境学部の校舎は、二重ガラスの外壁で、夏季の日射熱除去や冬季の断熱性能に優れている。その他にも、空調に地中熱を利用したり、トイレに雨水を利用するといった環境への配慮が随所に施されている。同規模の建物に比べて、3割以上の省エネ効果があるという。

駒澤大(東京都世田谷区)が2017年末の竣工を目指している「130周年記念棟」は、国土

自然エネ活用校舎は地域の防災拠点にも

最近話題のクールシェアを実現しているのが京都産業大(京都市)。夏休み期間中、図書館を近隣の中高生に公開しており、受験勉強や夏休みの宿題のために使うことができる。10年以上前から実施しているが、大学のアカデミックな雰囲気の中で勉強できることもあり好評だ。

てもらいたい」

第6回エコ大学ランキング「5つ星エコ大学」

設置	大学名	所在地
国	岩手大	岩手
国	京都工芸繊維大	京都
私	郡山女子大	福島
国	静岡大	静岡
私	日本工業大	埼玉
国	三重大	三重

(NPO法人エコ・リーグ調べ・五十音順)

いずれも毎年上位に入る常連で、継続的な取り組みの結果だ。同法人の土地成就さんに聞いた。「実験設備を常時稼働していたり、泊まり込みも多い工科系の大学ではなかなかエコが進まないのですが、日本工業大(埼玉県宮代町)にはエコ推進の専門部署があり、研究室を回って節電の協力を求めるなど、マネジメント体制が整っています。自然エネルギーの活用にも早くから取り組んでいます。また三重大(三重県津市)は、学長のリーダーシップで「世界に誇れる環境先進大学」を目指しています。夏季ピーク時の節電のため、時間帯によって学内の仮想電気料金を上下させる「デマンドレスポンス」という手法を取り入れ、成果を上げています」

さらに土地さんは「5つ星ではありませんが、千葉商科大(千葉県市川市)が昨年、野球場跡地に建設したメガソーラーが注目です。学内で必要な電力の77%を賄っています。自然エネルギー100%に向けた新たなプロジェクトも始まっているようです」と話す。ほかにも注目されるエコキャンパスの取り組みは多い。

東京理科大は、神楽坂キャンパス(東京都新宿区)周辺に「ドライミスト」を設置している。わずかな電力で微小な水滴を噴霧し、気化熱で気温を下げるシステムだ。散布部分の外気温を2℃程度下げる効果があり、学内のクールスポットになっている。同大工学部第二部の辻本誠教授が考案し、

小さなエコからメガなエコ 進化する環境への取り組み

Vol.88



「緑のカーテン」でゴーヤを収穫する目白大の学生

2005年の愛知万博で注目された。今では駅や商業施設など、全国各地で設置が進んでいる。目白大(同)では、学生自ら企画し実践する「ECOアクション」を推進している。今年10月のプロジェクトが実施中だ。その中の一つ「緑のカーテンのゴーヤでゴーヤ茶を作ろう!」は、社会学部地域社会学科の飛田満教授のゼミが取り組む。キャンパスで、日よけもかねて栽培されているゴーヤに目をつけ、これを苦みが少ないダイエツト効果もあるゴーヤ茶にして、地元の人々に配ろうという企画だ。収穫したゴーヤは学生が持ち帰り、手作りでゴーヤ茶にするのだという。リーダーで3年生の佐々木亮介さんは話す。

「サンデー毎日」元編集長 鳥越俊太郎氏が語る

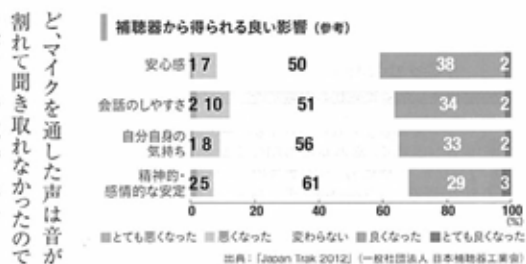
耳と聞こえのはなし vol.2

本誌3月8日号の「耳の日企画」で、元編集長の鳥越俊太郎氏に、難聴発症後の仕事や生活への影響、これまでの補聴器体験について伺い、最新補聴器を継続して装着していただいた。あれから約半年、日々の「聞こえ」はどう改善されたのか、再びお話を聞いた。

難聴の左耳でも普通に聞き取れるように
2000年に発症した「メンエール病」により耳鳴りに襲われ、その後、左耳の難聴に悩まされるようになった鳥越俊太郎氏。

難聴は日常生活でのコミュニケーションに大きな支障をきたし、仕事でもパネルディスカッションや講演の質疑応答といった、どうしても人の話を聞かなければならない場面で大きな影響が出るようになった。このため鳥越氏は、必要な状況では補聴器を装着する

ようにしたが、実際には雑音まで拾ってしまうことが多く、煩わしさもあって継続装着することはなかった。
そして今般、最新の補聴器を半年装着した鳥越氏の第一声は、「着けるようになってから、左側から話しかけられてもOKになりました」というものだった。そして、家族と一緒にテレビドラマを見るときも、今まで聞き取りにくかったセリフが普通の音量でかなり聞き取れるようになったとのこと。映画館にも行きましたが、臨場感がありましたね」と笑顔を見せる。



4月にハワイ旅行に行ったことで、現地の補聴器の装着状況についてお聞きすると、「そういえば、いつ着けて、いつ外したのか覚えていませんね。着けているのを忘れていくくらい自然になじんでいるのじゃないですか。そう答えて返ってきた。」

着けているのを忘れるくらい自然な「聞こえ」
今は、「一日を通して補聴器を装着していることが多い」という鳥越氏。「人に話しかけられても、聞き返すことが少なくなりました。また着けていないときは耳鳴りもしませんし、そういう点では生活の質が変わってきましたね」と話す。仕事についても、「これまで講演のときの質疑応答な

大学名	所在地	内容
東京農業大学	東京	三井物産と連携協定を締結。農業の活性化や人材育成、農業開発を支援する国際協力活動などで連携。サカタのタネと連携協定を締結。海外19カ国に拠点を持つ同社と食料、環境問題の解決に取り組む。
明治大学	東京	平和教育登戸研究所資料館が、来年3月26日まで企画展「NOBORITO 1945—登戸研究所70年前の真実」を開催。研究成果活用促進センターが活動実績を公開。これまでに20のプロジェクトを事業化し、10社余の会社設立を支援。2017年度から、50分のモジュールを単位とする100分授業に。2学期4チーム制でアクティブ・ラーニングや留学を促進。産学連携で、宮下芳明教授らが技術協力したタッチインターフェース搭載型ボール製VRゴーグルのプロトタイプが完成。
目白大学	東京	学生による「ECOアクション」に10件が採択。学食から出る廃油の再資源化など、取り組みの成果は秋の学園祭などで発表。立体的な映像美を表現する「ハイパーラプス撮影技術」で制作したキャンパス動画を、公式YouTubeチャンネルで公開中。
神奈川大学	神奈川	石川照、橋本崇と「学生U・Iターン就職促進協定」を締結。県内企業のセミナーやインターンシップの情報などを提供。来春、大学院理学研究科を改組し「理学専攻」を新設。数学、物理学、情報科学、化学、生物科学の5領域を体系的に修得。高校生対象の「マイコン回路デザインコンテスト」を開催。ビギナズ部門は9月13日、エキスパート部門は11月21日に実施。9月23日まで東芝未来科学館で「ハイパーラプスプリント」を開催。ペーパークラフトを用いた子ども向け創作イベント。
横浜国立大学	神奈川	新学長に元商学部長で水産海洋学会理事の小林雅人氏が就任。任期は7月11日から4年間。
金沢大学	石川	来年2月まで「学長と行く合宿シリーズ」を実施。学長の指導のもと白山など4か所での2泊3日の座禅や民泊体験などを行う。千葉大、長崎大と来春、共同大学院「先端予防医学共同専攻」を開設。文科省の「国立大学改革強化推進」採択事業。「スーパーグローバル大学」採択を受け、ステークホルダー協議会を初開催。自治体や企業などの協力で国際化を進める。応用バイオ科学の尾関健二研究室が、日本酒成分に新たな保湿機能を発見。スキンケア製品や美容食品を企業と開発中。教育支援機構が「全国企業品質賞」最優秀賞を受賞。学生へのワンツーワン・サービスや教育改革の取り組みなどが評価。
金沢工業大学	石川	韓国・東亜大学校医科大と学術国際交流協定を締結。冬・南イリノイ大医学部や独・ルール大医学部などに続き7大目。
愛知医科大学	愛知	大学院で「がん治療学」の入学者を募集。文科省「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」の一環。11月30日、12月3日に大学院医学研究科の入学説明会を開催。研究科の紹介のほか、個別相談も。
愛知淑徳大学	愛知	教員志望の学生と、教職に携わる卒業生を結ぶ「教育に志す者の会(教志会)」が発見。共に学び支え合う場を提供する。ダイバーシティ推進室を設置。男女共同参画推進室の一環として、女性研究者支援などに取り組む。
京都産業大学	京都	夏休み期間の9月16日まで、同大中央図書館を近隣の中学生にクールシェアスポットとして開放中。
立命館大学	京都	体づくり役に役立つアスリートスイーフ「SOY DELI (ソイデリ)」を地元のお土産など企画。販売、プロテインを手軽に摂取。9~12月まで東京キャンパスで「立命館メディア祭」(全10回)を開催。ジャーナリストの手嶋龍一氏ら著名人が登場。
龍谷大学	京都	京都府内の9大学が「地域公共政策士」の初級資格を新設。京都独自の地域資格で、地方創生を担う人材を育成。
大阪学院大学	大阪	東日本大震災の復興支援活動の一環で、学生が気仙沼市の小中学校に読書感想文の課題図書を寄贈。
大版工業大学	大阪	9月13日にグランフロント大阪で、連続公開講座の第1回「はやぶさ」1号2号が「拓く宇宙探査」を開催。学生チームがIEEE主催の国際学生コンテストで第3位に。テーマは「電気自動車の高効率ワイヤレス充電装置」。8月27日~11月10日まで国立民族学博物館で開催の「韓日食博」に出展。たこ焼きづくりなどがバーチャル体験できる。「情報科学部」での4年間が約4分間でざっくりわかるサイトを公開中。ロボカップや国際PBLの授業なども動画で紹介。
摂南大学	大阪	創立40周年を記念し、8月31日まで特別展「淀川舟遊(よどがわしゅうゆう)〜若冲・応・兼村も愛した〜」を開催。堺市教育委員会と連携協定を締結。子どもの多様な学びの機会を提供し、学生らによる学校教育活動への支援などを推進。
桃山学院大学	大阪	10月20日にキリスト教講演会を開催。元ホンダF1チーム総監督の飯井敏敏氏が「夢への挑戦・不屈の魂」をテーマに講演。
広島国際大学	広島	広島県安芸太田町と連携協定を締結。教員、学生と地域住民の連携で地域医療の充実を目指す。

※記事の詳細については、「大学プレスセンター」のホームページ(<http://www.u-presscenter.jp/>)をご覧ください。

交通省の「住宅・建築物省CO2先導事業」に採択された。風光・熱といった自然エネルギーの活用に加え、ICTによるエネルギー管理の最適化を図っている点も評価された。災害時には、地域の防災拠点として機能する予定だ。他大学のキャンパス再開発の先導事例となるなど、波及効果への期待も大きい。

摂南大の寝屋川キャンパス(大阪府寝屋川市)では、理工学部住環境デザイン学科が校舎を利用した環境測定・分析を行っている。屋上のコンクリート面に遮熱塗料を施し、経年劣化を調査。実験4年目のデータによると、塗装面の遮熱機能は80%以上をキープしており、塗装の効果が実証された。海外の大学では、エコキャンパスから一歩進んだ「サステイナブルキャンパス」が広がっているという。持続可能な社会に向けて貢献する多様な取り組みだ。グローバル化の進展に伴い、国内の大学も、今後さらに進化したエコが求められるようになりそうだ。

大学通信・小林 聡